



■使用評価マニュアル：CASBEE 柏2014年版

（使用評価ソフト：CASBEE 柏2014(v.3.01)）

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人社団 葵会(仮称)介護老人	階数	地上3F
建設地	千葉県柏市	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	130 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2015年12月22
敷地面積	5,715 m ²	作成者	山崎 貞信
建築面積	2,022 m ²	確認日	
延床面積	4,960 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 184 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.9**

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
エネルギーの高効率化、躯体の耐久性の向上を基本に、標準的な取り組みが行われた計画としている、	特になし。
Q1 室内環境 吸音材を1面以上施工し、音環境に配慮した計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地周辺に緑地帯を設けて緑化を図るとともに、建物内部にも光度も設けて、内部まで光を取り込む計画としている。
LR1 エネルギー 建物外皮に断熱材を施工するほか、各個室バルコニーに庇を設け、温熱環境に配慮した計画としている。	LR3 敷地外環境 敷地内で車両の通行方向の明確化、敷地内での渋滞緩和等に配慮した計画としている。
Q2 サービス性能 各個室面積10㎡以上、高を高くすることで、居空間の広がり高めめる計画としている。	
LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上材を容易に分離可能な工法を採用し資源の再利用に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

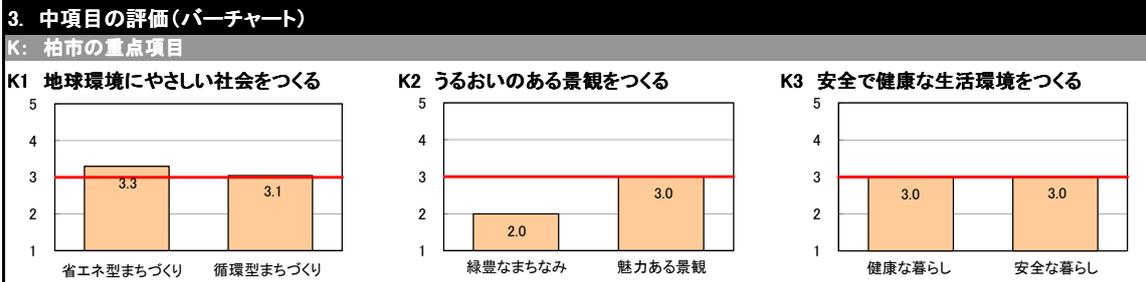


評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 柏2014年版 ■使用評価ソフト: CASBEE 柏2014(v.3.01)

1 建物概要		建築物の環境効率 (BEEランク)	B+	★★★★☆
建物名称	医療法人社団 葵会(仮称)介護老人保健施設 葵の園・柏たなか 新築工事			

2 重点項目への取組み度		重点項目	取組み度 ※ (得点/満点)	評価結果
K1	地球環境にやさしい社会をつくる		3.1 / 5.0	ふつふ
K2	うるおいのある景観をつくる		2.5 / 5.0	がんばろう
K3	安全で健康な生活環境をつくる		3.0 / 5.0	ふつふ
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)		すばらしい 4点以上	ふつふ 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項		スコアシート
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <p>高効率な空調、換気、照明、給湯等の設備機器を使用する。</p> <p>雨水排水負荷抑制のためのピットを設ける。</p>	<p>1. 省エネ型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 3.0 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 4.0 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 3.0 <p>2. 循環型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 3.2 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 3.0 	
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <p>緑化計画に基づき、必要緑地面積を確保する。</p> <p>接道緑化を積極的に行う。</p>	<p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 2.0 <p>2. 魅力ある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 3.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 - 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 - 	
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <p>シックハウス対策として、F☆☆☆☆建材を使用する。</p> <p>災害時対策として、空調設備の熱源種を分散する。簡易ろ過設備、自家発電装置を設置する。</p>	<p>1. 健康な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気環境(Q1-4) スコア 3.0 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 3.0 <p>2. 安全な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 - 	